

最先端研究開発支援プログラム(FIRST)「原子分解能・ホログラフィー

電子顕微鏡の開発とその応用」(外村プロジェクト)

に係る今後の取扱いについて(案)

平成 24 年 5 月 10 日
最先端研究開発支援推進会議

○ FIRST 外村プロジェクトの今後の取扱いに関しては、「最先端研究開発支援プログラム推進チーム」(有識者議員で構成)の検討を経て、最先端研究開発支援推進会議(政務三役+有識者議員で構成)で判断する。

1. 最先端研究開発支援プログラム推進チームが検討する際の論点

(1) 研究開発の進捗状況について

- ・ 研究開発は計画に沿って順調に進捗しているか。

(2) 研究開発の目標の達成見通しについて

- ・ ① プロジェクトの特性、② (1)の進捗状況と残された技術課題、③ 研究実施体制と事業推進体制から見て、プロジェクトの所期の目標の達成は可能と見込まれるか。
- ・ その際、本プロジェクト終了時に世界トップ水準の研究成果になると見通せるか。

2. 検討のスケジュール

5月第3週

最先端研究開発支援プログラム推進チーム

～5週

①研究開発の進捗状況及び今後の見通し等について、補助事業者（独立行政法人科学技術振興機構、株式会社日立製作所、独立行政法人理化学研究所）からヒアリング

②現地調査の実施（埼玉県鳩山町）

*ヒアリング及び現地調査には、外部有識者にも参画を求める。

③プロジェクトの今後の取扱い（事業継続の可否の判断）案のとりまとめ

5月末

最先端研究開発支援推進会議

～6月上旬

・プロジェクトの今後の取扱い（事業継続の可否の判断）の決定

（注）最先端研究開発支援プログラム推進チームでの検討に当たっては、外部有識者の協力を得て実施する。

(参考)

最先端研究開発支援プログラム推進チーム

相澤 益男 総合科学技術会議議員 (常勤)

奥村 直樹 総合科学技術会議議員 (常勤)

今榮 東洋子 総合科学技術会議議員

白石 隆 総合科学技術会議議員

青木 玲子 総合科学技術会議議員

中鉢 良治 総合科学技術会議議員

平野 俊夫 総合科学技術会議議員

大西 隆 総合科学技術会議議員

外部有識者 (機器システム担当)

有信 睦弘 東京大学 監事

石出 孝 三菱重工株式会社 技術本部 先進技術研究センター
センター長

佐藤 正明 東北大学 大学院医工学研究科 教授

松井 良夫 独立行政法人物質・材料研究機構 外部連携部門
研究連携室 連携コーディネーター

松木 則夫 独立行政法人産業技術総合研究所 四国センター
所長

※上記の外部有識者は、平成 23 年度に実施した研究課題のフォローアップ時に選定済